

令和4年度 高志中学校1年 福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園研修

- 1 期 日 6月16日(木)
- 2 目 的 福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園を訪問し研修することで、「ふるさと福井」に今まで以上の興味・関心を持ち、「福井の資源(たから)」「福井の歴史(とき)」をテーマとした探究活動の内容を深める。
- 3 場 所 福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園
- 4 参加生徒 89名

5 報 告

◆福井市郷土歴史博物館

福井市郷土歴史博物館では、常設展、特別展を見学しました。常設展では、縄文時代から現代まで地元福井の人々がどのように暮らしていたのかを詳しく知ることができました。重さ2トン以上もある石を山から切り出して造られた古墳時代の石棺に実際に触れたり、洪水時の被害を防ぐ半木半石の九十九橋の橋桁や福井城や城下町の広さを表す模型などを見たりして、福井の歴史を感じながら地元への理解を深めることができました。

特別展「みんなで選ぶ!博物館の宝」では、「歴史の証人」や「かわいい」「超絶技巧」などのカテゴリー別に学芸員さんが選んだ博物館のお宝収蔵品を見学し、自分が興味を持った「イチ押し」を投票しました。現代でも再現が難しいほどの技術で作られた龍の置物や真田幸村の采配など、貴重な資料を間近で見ることができ、福井の魅力を再確認したようです。



◆養浩館庭園

越前松平家の別邸兼庭園であった養浩館では、職員の方から、実際の屋敷の中で床の間や違い棚などの書院造が特徴的な「御座の間」や、月が水面に映る位置を計算して設計された「御月見ノ間」などについての説明を受けました。生徒たちは、池に浮かんだ舟の中のように感じられる屋敷内から庭園を眺め、当時の人々の生活や心情に思いを馳せていました。

